

由木中央小

令和7年10月31日 学校だより 第9号

教育目標「すすんで学習をしよう」「あったかい心をもとう」「じょうぶな体をつくろう」 HPアドレス https://hachioji-school.ed.jp/yugce/ 校長 松山 大作

芸術の秋 ~展覧会に向けて~

校長 松山大作

現在、人工知能(AI)やテクノロジーの発展に伴い、情報化社会が急速に進展しています。このように物や情報があふれる科学万能の社会では、知性や合理性が重視される一方で、豊かな心をはじめとする精神性の問題が軽視されがちです。また、子どもたちが「与えられること」に慣れ、自ら創造する喜びを失うことも懸念されています。

さらに、ニュースの多くは暴力や攻撃性を伴う事件が目立ち、社会全体で感性の荒廃が非常に速いスピードで進行しているように感じられます。これは社会の底から聞こえる「人間性の危機」のように思えるのです。こうした世の中で、子どもたちの本来備えている瑞々しい感性が傷つかないかと心配しています。AIが活躍する現代だからこそ、人間らしい創造力や豊かな心情が求められ、それらを育む文化や芸術の役割は一段と重要になっていくと感じています。

さて、美しい音楽を耳から心へ流し入れると心が清らかになり、名画を目に映すことで優しさや安心感に満たされるのではないでしょうか。文化や芸術は、私たちの生命の深部にまで届き、内面を揺さぶりながら精神性を高めていく力があります。その力が、現代社会が抱える「人間性の危機」に歯止めをかける一助になると信じています。今後、ますます激しく変化し続ける社会の中で、学校と家庭、地域社会とともに、子どもたちの「豊かな心」を育む教育を大切にしていく必要があります。

それでは、ご家庭において、「豊かな心」を育むためにできることとは何でしょうか。例えば、料理は五感をフルに働かせる豊かな体験であり、子どもたちの感性と創造性を育むのに適しています。また、お子さんと一緒に公園や自然の多い場所へ出掛け、土や草花に触れたり、裸足になって歩いたり、寝転がったりすることも、豊かな情操教育につながります。さらに、秋の夜長には夜空を眺め、星や月の美しさに触れたり、素敵な音楽を聴いたりするのも良いでしょう。こうしたさまざまな体験や発見から、豊かな想像力や感性、好奇心が育まれると思っています。何よりも、家族との温かいコミュニケーションの中でこそ、豊かな心は育まれていくと考えています。

11月14日・15日には「展覧会」を開催いたします。子どもたちが自らのアイデアと技術を生かして表現した作品を体育館いっぱいに展示いたします。作品からは、子どもたちの「無限の可能性」や「豊かな感性」、「広がる創造力」を感じ取っていただけるかと思います。それはまさに、今、社会が必要としている「明日への希望」へとつながる力です。ぜひ、470名の小さな芸術家たちの個性豊かな作品をご覧になり、芸術の秋を存分にお楽しみください。皆様のご来校を、教職員一同心よりお待ちしております。







5年 いのちの授業 10月8日(水)



5年生学年行事として、助産師の方を講師として お招きして実施しました。命のすばらしさを実感で きる非常に有意義な時間となりました。

3年 自転車教室 10月10日(金)



交通安全課の方や南大沢警察署、交通安全協会 の方々から、交通規則にそった安全で正しい自転 車の乗り方を教えていただきました。

2年 遠足 多摩動物公園 10月9日(木)







学校から徒歩で京王堀之内駅へ行き、京王線に乗って京王多摩センター駅へ、そしてモノレールに乗り換えて多摩動物公園に行きました。アフリカ園では協力しながらグループ行動をしました。子どもたちは本物の動物の姿を見て多くの気付きがありました。昆虫館では多くの昆虫を間近に観察することができました。

PTA 秋まつり 10月11日(土)







由木中吹奏楽部による素敵な演奏でスタートしました。子どもたちはスタンプカードをもって和太鼓体験コーナーやおもちゃ釣り、クイズラリー、スライムづくり、工作コーナー、パネルシアター等をまわり、思い切り楽しみました。330人の児童の参加があり大盛況でした。お世話になったPTAや青少対、越野太鼓、由木中吹奏楽部、はちビバ由木、由木学童保育所、都立大化学実験サークルの皆さま、ありがとうございました。

1年 遠足 富士見台公園 10月23日(木)







1年生は徒歩で、富士見台公園へ遠足に行きました。さわやかな秋の気候の中、遊具遊び、段ボール滑り、 学年増え鬼、どんぐり拾い等たくさん遊ぶことができました。また、お弁当・おやつタイムも友達と楽しく過ご し、「楽しかった!」「もっと遊びたい!」という声がたくさんありました。